日本を外から見るー私が見た海外事情ー

【第4回 航空会社の選定】

前は、海外へ行くための準備として、国事情についてお話ししました。今回は、航空会社の選定についてお話しします。

目次

- * 前回まで(第1回～第3回)
 - (1) 海外に行くということ
 - (2) スケジュール(行程表)を決める
 - (3) チケット予約
 - (4) 海外へ行くための準備(持ち物編)
 - (5) 海外へ行くための準備(国事情)
- * 今回(第4回)
 - (6) 航空会社の選定
 - ① アメリカ方面
 - * エピソード
 - ② ヨーロッパ方面
 - ③ アジア方面
 - * エピソード
 - ④ 航空会社を選ぶには

(6) 航空会社の選定

海外への移動には、飛行機、船(日本韓国間の場合にはフェリー)という手段がありますが、ここでは飛行機での移動についてのお話をします。

航空会社の選定基準は、仕事の場合には「大手航空会社」「直行便」というお話を第1回でしました。もっとも、旅行の場合でも同様でしょうか。マイレージを貯めるためにいろいろな経由地を選定する場合があるかもしれませんが、ここでは「直行便」を基準にお話しします。ここで「直行便」という場合には、はじめの到着地が「長距離で主要空港」ということ、および「航空会社の系列を考慮して」ということも含んでいることを付け加えておきます。

例えば、私がイタリアのミラノへ行く場合には、ドイツ経由にしています。ドイツでの用事もあることと、スターアライアンス系であることがその理由となります。

航空会社は、日系か海外系かに分かれます。日系は日本人が、海外系は海外の方たちが多く搭乗しています。

飛行機は「安全に」「時間通りに」「目的地に到着する」ことを基本としています。

しかしながら、乗客は、それに加え、「機内での快適さ」「食事」も加味しています。

以下、各方面への利用便についてお話しします。私の主観でのお話ですので、そんなこともあるのかという程度に読んでいただければと思います。

① アメリカ方面

これも第1回でお話ししたように、スターアライアンス系、ワンワールド系に分かれます。

私は、スターアライアンス系ですので、今回はそのお話となります。

日本からアメリカへ行くには、日系かアメリカ系かの選択となります。同じ路線で、時間をずらして発着しますので、どちらの選択も可能になります。ワンワールド系になると到着ターミナルが別になることがあります。

目的地の空港がどちらの系列のハブ空港かによって異なりますので、ハブ空港の系列は事前に確認すると良いでしょう。

シカゴはユナイテッド航空(UA)のハブ空港ですので、スターアライアンス系の空港ロビーは充実しています。

* エピソード

海外に行きたての頃は、とにかく「現地を感じられるよう海外の航空会社を選びたい」と考えていましたので、ユナイテッド航空(UA)を利用していました。エコノミーの場合でお話をします。

何度か利用して、あるとき、「機内食が今一つかな」と思うようになり、空港で弁当を買って機内で食べるようになりました。和食の弁当で、非常に満足のいくものでした。機内食のサービスが始まり、私はいらぬ旨を伝え、この弁当をいただきますので、と付け加えるとCAの方が「そうですよね。おいしそうですね」と一言。フライト中に配布される軽食は「マルちゃんうどん(カップ麺)」でした。男性のCAの方もいて、機内はややにぎやかな感じでした。その後、ANAにお世話になることになりました。食事内容が全く違いました。これが日系なのだ、と思いました。エコノミーでも食事が「おいしく」いただけるのです。途中のスナックは、自由にキャビンに取りに行くことができます。同じ日本人のせい、対応も丁寧な感じがします。ステータスマイレージカード(スターアライアンス・ゴールド)を持っている場合にはラウンジを利用できますが、UAのラウンジとANAのラウンジではサービス内容にかなりの差があるように感じました。アメリカ国内の移動は、UAにお世話にならなければなりません、長距離便で日系を利用できるのなら、日系をお勧めします。ただ、シンガポール航空は別です。機内食もおいしくいただけます。ここで、UAに関してお話ししているのは、あくまでも私の個人的な感想です。見方や気づき方が変わると、それによって受ける印象は異なると思います。

* エピソード(その2)

アメリカ国内の移動はUAでしたが、何度かトラブルに見舞われたことがありました。詳しくは、改めてお話ししますが、到着後に預けた手荷物が出てこないトラブルがありました。アメリカ国内は広いので、途中でトランジットする場合があります。このときは、シカゴに到着し、荷物が出てくるのを待っていましたが、荷物が運ばれてくるターンテーブルからは最後まで出てきませんでした。最終便だったため、近くのスタッフに声をかけ状況を確認すると、トランジットの空港にまだあるとのこと。この便が最終便だったため到着は明日になるとのこと。出張の最終日を一日ずらしていたため、荷物が出てこなくとも何とか帰国できましたが、荷物がホテルに届けられたのは、翌日の夕方でした。アメリカの出張では、アメリカ国内移動後の翌日にすぐ帰路につくことはリスクが多いことを感じました。

② ヨーロッパ方面

ヨーロッパは、ドイツを拠点に移動することが多かったため、航空会社はルフトハンザにしました。フランクフルト空港に到着するとわかりますが、ANAのカウンターは非常に狭い感じがします。しかしながら、ANAでも良いと思います。ひょっとしたら食事はANAの方がおいしいかもしれません。私がルフトハンザにしたのは、マイレージの有効期間が長いことがわかったからでした。当時、日系の航空会社は、3年でマイレージが切れてしまうようでした。加えて、アメリカ便のUAに比べて、ヨーロッパ便のルフトハンザはサービス面でも問題なさそうなレベルであるという印象があったためルフトハンザを選びました。ただ、マイレージのステータスがなくなった現在では利用航空会社は日系でも良いかなと感じています。マイレージが貯まるといろいろな特典があることをお話ししました。ルフトハンザでは、通常のレベルから、フリークエント・トラベラー、そしてセネター(いわゆるスターアライアンス・ゴールド)となります。この上はホン・サークルという最上クラスになりますが、フライトマイル数から考えると、通常の利用では、やや現実的でない気がします。セネターになると世界の各空港でラウンジが利用できます。ラウンジのお話は、また次の機会にしますね。

③ アジア方面

韓国へはアジアナによくお世話になりました。機内食は、ビビンバ(韓国語では"ピビンバ"です)が出たりして、韓国に行くのだな、という気持ちの高揚がありました。ソウル便だと到着空港は金浦(キンポ)空港か仁川(インチョン)空港になります。現在は、空港から地下鉄で市内へ移動できるようですが、タクシーで移動したり、迎えに来てもらったりで、車での移動が多かったです。タイへはタイ航空またはANAにお世話になりました。シンガポールへ行くなら、シンガポール航空が良いでしょう。

* エピソード

インドへ出張に行った時のお話です。

タイ・バンコクからインド・ニューデリーへの往復でした。タイ航空を利用しました。復路での搭乗で機内に入ると、インド人がそこかしこで移動していました。インドのパスポートを持っていたのでそのように国を特定できました。

そのインドの人たちは、あろうことが自分の座りたい席に座り始めていました。欧米人の女性の席(通路側)に座っていたインド人が、チケットで席を確認して座ろうとしたその女性に向かって「隣の席が空いているよ」と言ったのに対し、その女性は(当然のこととして)「ここは私の席です」とぴしゃっと言ってそのインド人を追いやりました。このようなインド人の考え方にはなかなか及ばないことがあり、事実として認識しました。

* エピソード(その2)

シンガポールからマレーシアに移動したときのお話です。

シンガポール航空にお世話になりました。フライト時間は40分程度。エコノミーの利用でした。離陸して水平飛行に移ったのち、もう少ししたら着陸に向けてシートベルトサインが出るのではないかと考えている頃でした。なんと、コーヒーのサービスが始まったのです。サービスが終わるころにはシートベルト着用のアナウンスがあったことを覚えています。

「サービス」という点で、改めて感心しました。

④ 航空会社を選ぶには

まず、グループを決めます。スターアライアンス系かワンワールド系か。

次に、出発・到着時間から便を選びます。直行便を原則として、時間帯が似ているなら日系を選ぶと良いかもしれません。また、その到着する空港がどちらの系列かも考慮すると良いでしょう。

では、今回はこのくらいにして、次回から実際のシミュレーションをしてみましょう。